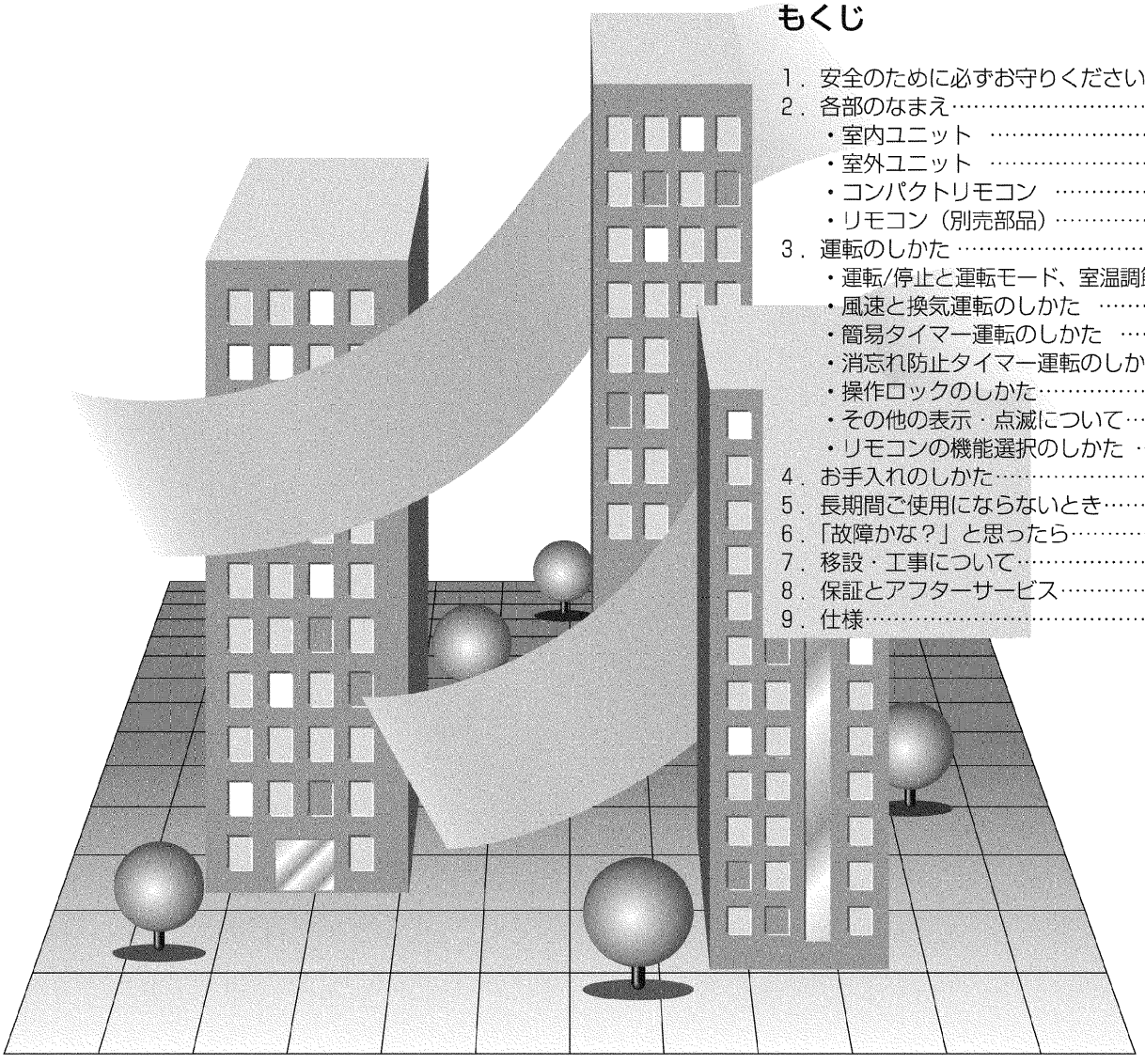
MITSUBISHI

三菱電機フリープランシステム（R410A対応）

室内ユニット
PEFY-P・ML-E(-R)

取扱説明書



もくじ

ページ
1．安全のために必ずお守りください……1～3
2．各部のなまえ……4～5
・室内ユニット ……4
・室外ユニット ……4
・コンパクトリモコン ……4
・リモコン（別売部品）……5
3．運転のしかた……6～15
・運転/停止と運転モード、室温調節のしかた …6
・風速と換気運転のしかた ……7
・簡易タイマー運転のしかた ……8
・消忘れ防止タイマー運転のしかた ……9
・操作ロックのしかた……10
・その他の表示・点滅について……11
・リモコンの機能選択のしかた ……12～14
4．お手入れのしかた……17
5．長期間ご使用にならないとき……18
6．「故障かな？」と思ったら……19・20
7．移設・工事について……21
8．保証とアフターサービス……22
9．仕様……23

このたびは三菱電機フリープランシステムをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』および『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

1．安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠**警告** 、⚠**注意** の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

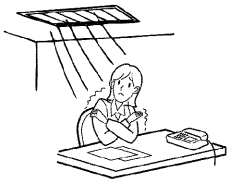
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	回転物に注意してください。 （室外ユニット本体に表示してあります。）
	絶対に水を掛けないでください。
	絶対に濡れた手で触らないでください。

●ご使用時

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

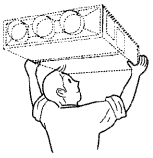
健康を損なう原因になります。



禁止

お客さま自身で分解･据付け･修理･移設･廃棄はしない

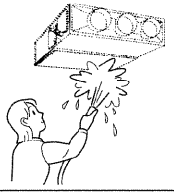
不備があると、火災･感電･ユニットの落下によるケガ･水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。



分解･据付け･修理･移設･廃棄禁止

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



水濡れ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

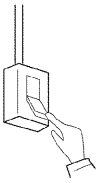
万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

換気

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

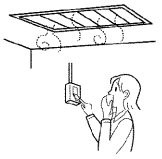
ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。

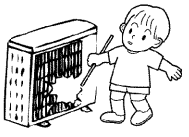


電源を切る

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！

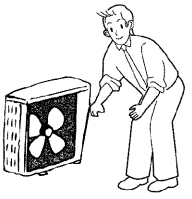
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

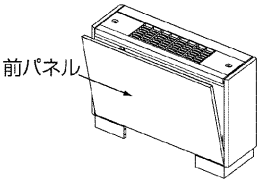
パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



分解禁止

床置形は前パネルを外しますと、送風機・熱交換器、配線が露出します。
外してご使用しないでください。
（点検時以外は絶対に外さないでください。）

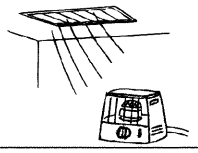


●ご使用時

⚠注意

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

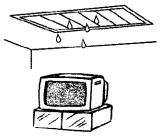
不完全燃焼の原因になります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。



設置禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

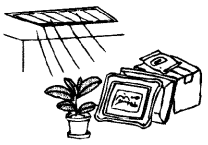
冷房時、多湿（湿度８０％以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。



使用禁止

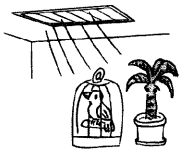
室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

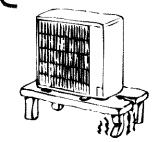
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

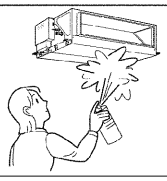
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

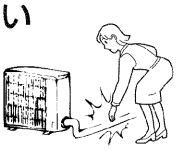
火災・変形の原因になります。



使用禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

換気

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

電源を切る

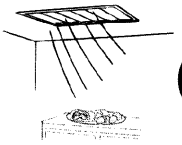
フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

禁止

エアコンの下方に食品や食器を置かない。

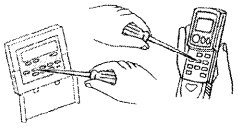
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。



禁止

リモコンを先がとがった物で押さない。

故障の原因になります。



禁止

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する。

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

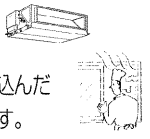
フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

保護具着用

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。



換気・送風運転

粉が浮遊する作業場等では使用しない

粉塵などにより機器の故障や発煙に至ることがあります。または健康を損なう原因になります。

禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。

禁止

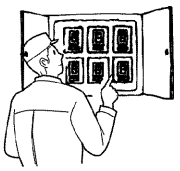
●据付け時

⚠警告

据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付け

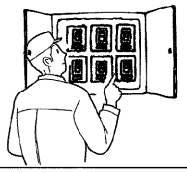
元電源の取付位置を確認する



元電源

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

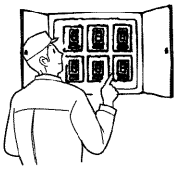
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断器を取付ける

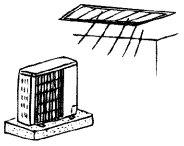
取付けていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



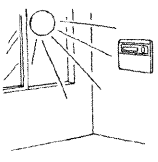
設置場所

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない。

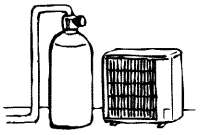


据付禁止

⚠注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据付けない

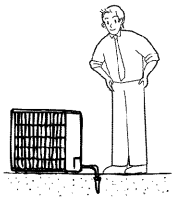
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

アース工事を行う

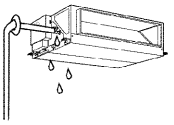
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。

本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

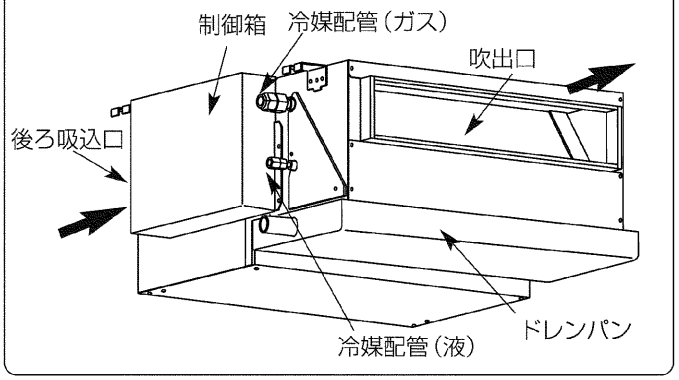
- ●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ●硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ●車輌・船舶など移動するものへの設置
- ●高周波を発生する機械を使用するところ
- ●化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ●粉や蒸気が多量に発生するところ
- ●油煙がたちこめるところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●積雪により室外ユニットが塞がれるところ
- ●炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

2. 各部のなまえ

室内ユニット

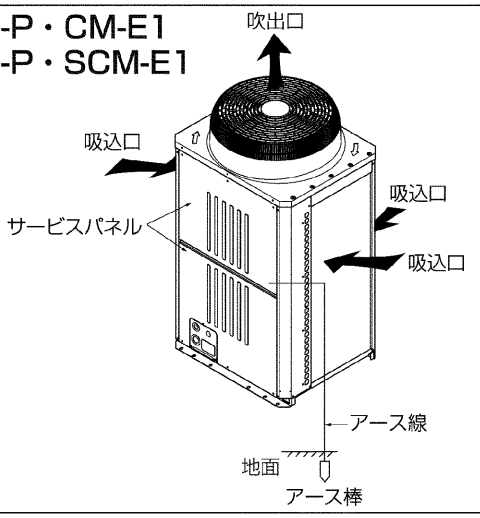
PEFY-P・ML-E（左配管仕様）
PEFY-P・ML-E-R（右配管仕様）
※吹出口より見た配管方向で左／右配管仕様に分けています。



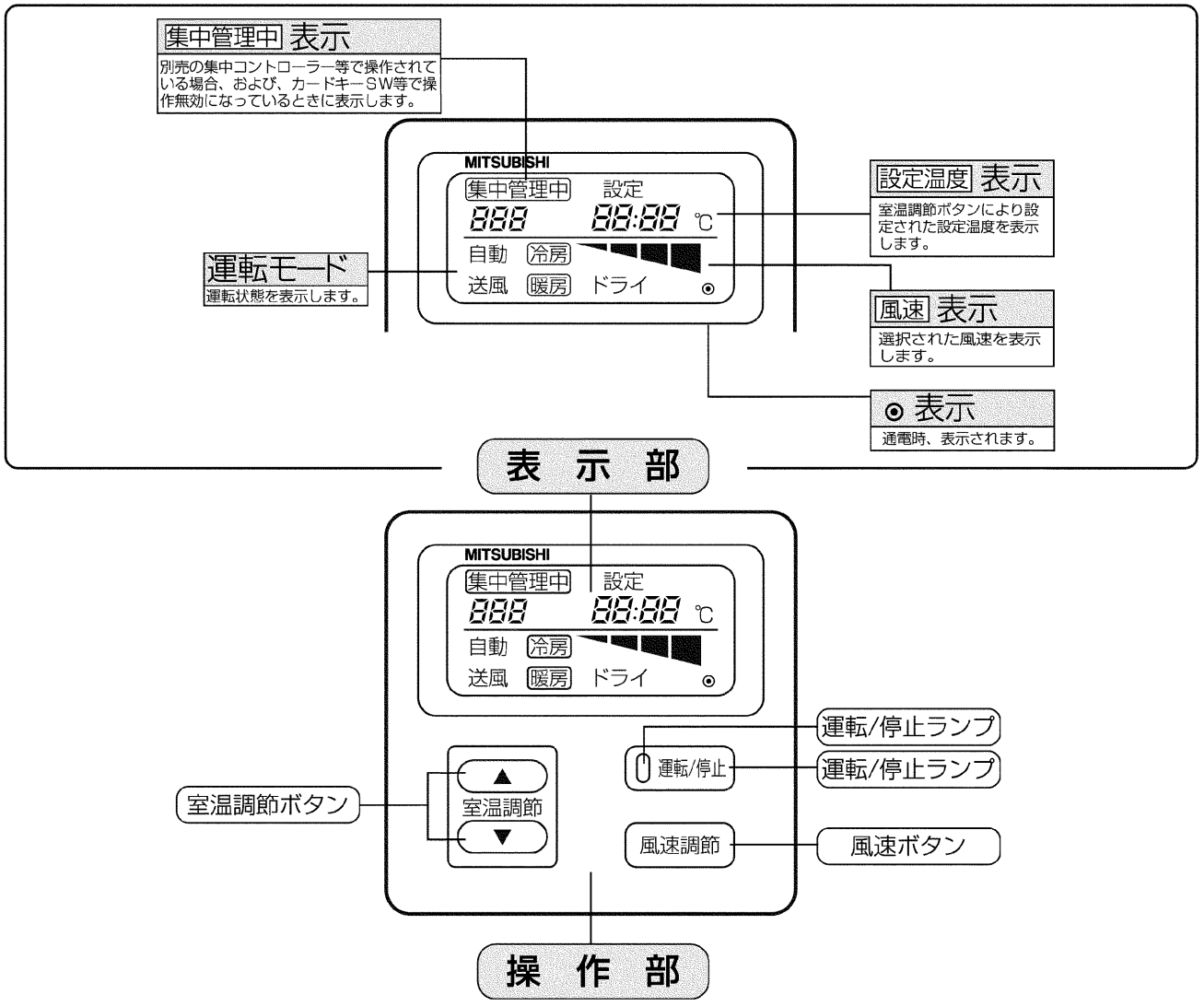
室外ユニット

■システムにより、形状が異なります。

PUHY-P・CM-E1
PUHY-P・SCM-E1

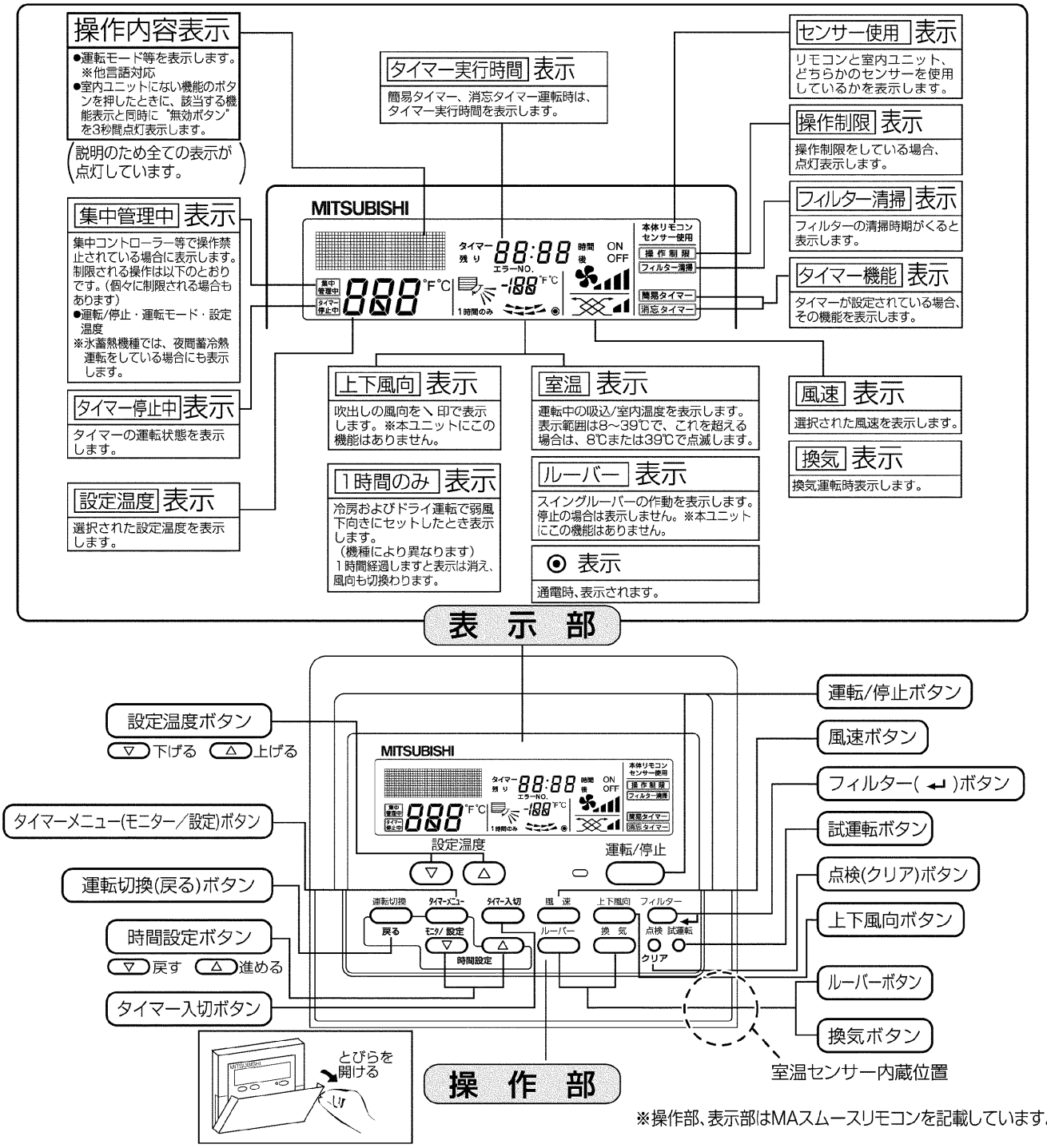


コンパクトリモコン



リモコン（別売部品）

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、ワイヤレスリモコンに付属されている取扱説明書/据付工事説明書を参照してください。



※操作部、表示部はMAスムースリモコンを記載しています。

お知らせ

■"PLEASE WAIT"表示（初期設定中）
電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。

■運転モードの点滅表示
同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。

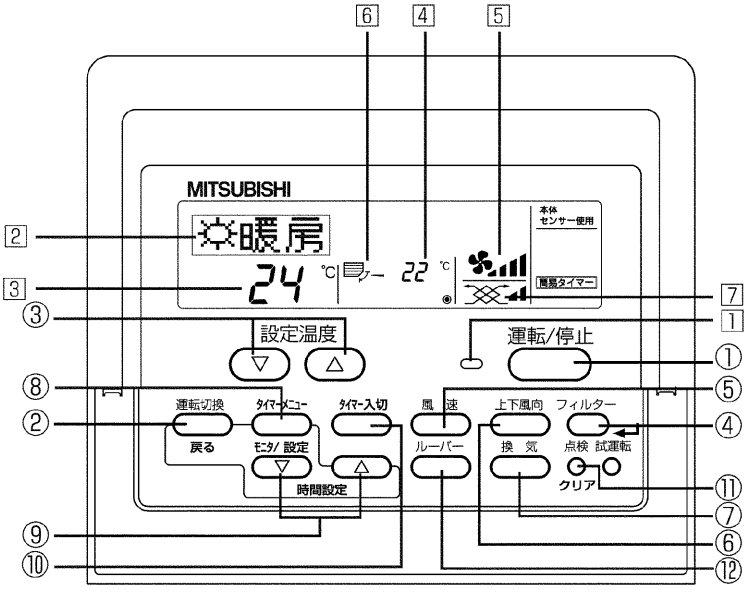
■"無効ボタン"表示
操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には"無効ボタン"と点灯表示が出ます。
1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

■室温表示
本体の室温センサーを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合のリモコンへの表示は、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。室温センサー位置は、"本体"と"リモコン"が選択でき、初期設定は、"リモコン"となっています。

3. 運転のしかた

(1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

運転開始の前に…電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



MAスムースリモコン

運転モード表示

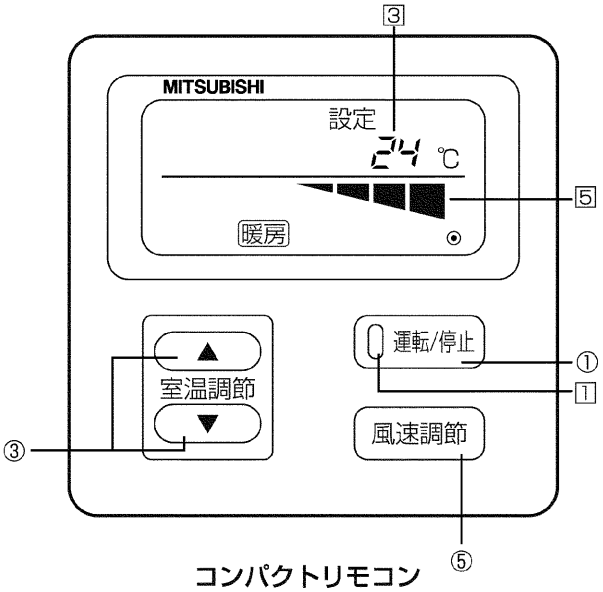
冷房
ドライ
送風
自動
冷房（自動冷房モード）
暖房（自動暖房モード）
暖房

※自動(冷房)／自動(暖房)モードは　設定できません。自動モード設定時、冷房／暖房の運転が確定した後に表示されます。

運転状態表示

暖房準備中
暖房 ⟷ 準備中　交互に表示

霜取中
暖房 ⟷ 霜取中　交互に表示



コンパクトリモコン

運転を開始するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ[1]と表示部が点灯します。

お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風　速	前回設定風速

運転を停止するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ[1]と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき MAリモコンのみ

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが[2]に表示されます。

冷房 → ドライ → 送風 → 自動※1 → 暖房※1 →

お知らせ

●室外ユニットの機種により、自動・暖房機能がない場合があります。
●自動運転の場合、設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室内温度が低いときは暖房運転を開始します。運転モードが確定した後に現在の運転モード［自動（冷房）モード、自動（暖房）モード］が表示されます。
●リモコン機能選択で“自動モード使用なし”が選択されている場合は、自動モードは表示されません。

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･ ▽ 室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･ △ 室温調節ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が[3]に表示されます。
●設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房･ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風･換気
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

● リモコン機能選択で温度範囲が制限されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合“温度制限”が点滅表示され制限中であることが表示されます。

室温表示 MAリモコンのみ

運転中の吸込/室内温度が[4]に表示されます。

お知らせ

●表示範囲は8~39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。
●室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“リモコン”となっております。室温センサー位置を“本体”に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
●リモコン機能選択で“室温表示なし”が選択されている場合は、室温は表示されません。

(2) 風速と換気運転のしかた

風速を変えたいとき

■運転中に(風 速)ボタン⑤を押す。
●1回押すごとに以下のように設定が切換わります。
風速が[5]に表示されます。
●設定できる風速は次のとおりです。

〔MAスムースリモコンの場合〕

風速	リモコン表示
3段階機種	(弱) (中) (強)

※1.MAリモコンからのみ設定可能です。

〔コンパクトリモコンの場合〕

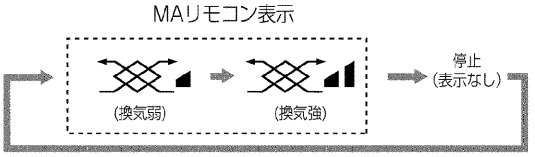
リモコン表示
(弱) (中) (強)

お知らせ

●このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
1. “暖房準備中”･“霜取中”表示のとき(MAリモコンのみ)
2. 暖房運転直後(モード切換待機中)
3. 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
4. ドライ運転時

換気運転のしかた MAリモコンのみ

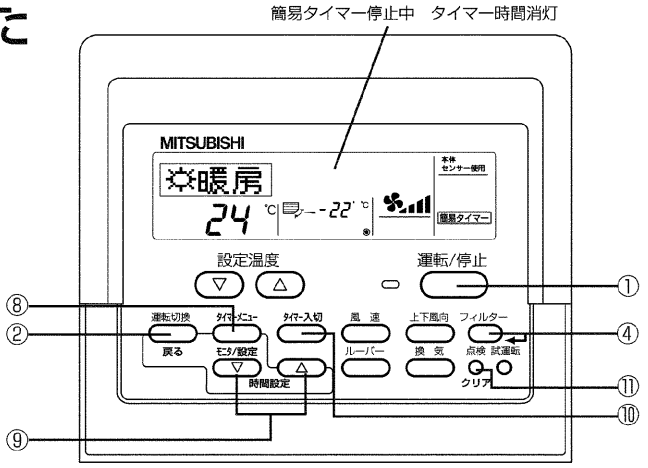
●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。
換気運転が[7]に表示されます。
●室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
■停止中に(換 気)ボタン⑦を押す。
運転ランプ[1]と換気運転が[7]に表示されます。
●換気操作の風速を変えたいとき
■(換 気)ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切換わります。



お知らせ

●室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。
●(換 気)ボタン⑦を押したとき、“無効ボタン”の表示が点灯する場合は、換気装置が連動接続されていません。

(3) 簡易タイマー運転のしかた



■簡易タイマー運転には次の３つの方法があります。
- ●入タイマー運転　：運転開始時間のみをタイマーで行う。
- ●切タイマー運転　：運転終了時間のみをタイマーで行う。
- ●入切タイマー運転　：運転開始／終了時間をタイマーで行う。

■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。設定時間は、1時間単位です。

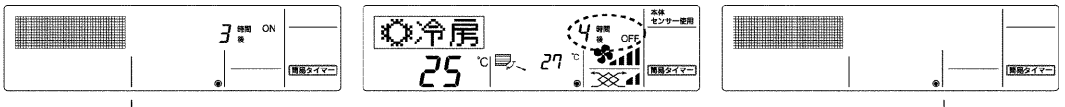
■タイマー運転中には、簡易タイマーの他に消忘れ防止タイマーを選択することが可能です。(MAスムースリモコンのとき)消忘れ防止タイマーの選択／設定方法は、次ページ『(4)消忘れ防止タイマー運転のしかた』、P12,13の『(7)リモコンの機能選択のしかた』、または、リモコンに付属の据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

※1 簡易タイマー、消し忘れ防止タイマーの併用はできません。

※2 次の場合、タイマー運転は実行されません。タイマー停止中/異常中/試運転中/リモコン診断中/機能選択中/タイマー設定中/集中管理中（運転／停止操作禁止）

タイマー設定表示例　※補足　入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示切換について。

例1）入タイマーから開始する場合　【入タイマー設定時間：3時間後ON　切タイマー設定時間：7時間後OFF　の場合】

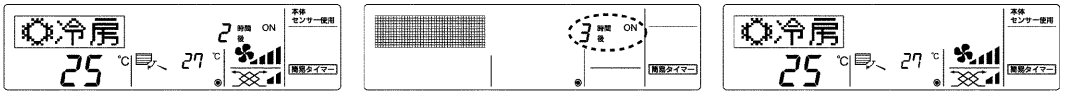


タイマー開始
入タイマー時間を表示

3時間後
切タイマー時間ー入タイマー時間を表示

7時間後
7時間経過後以降は操作があるまで停止のままとなります。

例2）切タイマーから開始する場合　【入タイマー設定時間：5時間後ON　切タイマー設定時間：2時間後OFF　の場合】

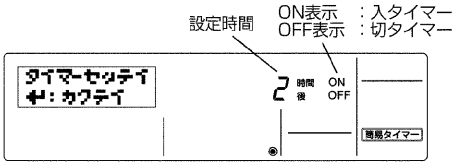


タイマー開始
切タイマー時間を表示

2時間後
入タイマー時間ー切タイマー時間を表示

5時間後
5時間経過後以降は操作があるまで運転のままとなります。

簡易タイマーの設定のしかた



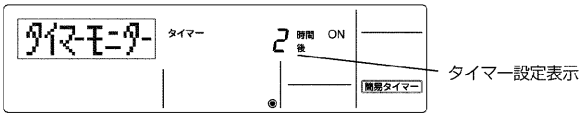
1. 液晶に簡易タイマーが表示されていることを確認します。
2. タイマーメニュー(ボタン⑧)を押し、“タイマーセッテイ”表示とします。ボタンを押す毎に、“タイマーモニター”と“タイマーセッテイ”の表示が切換わります。
3. 運転/停止(ボタン①) を押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。ボタン①を押す毎に、“時間後 ON”と“時間後 OFF”の表示が切換わります。
   - ・入タイマー(運転開始時間の設定表示)：“時間後 ON”
   - ・切タイマー(運転終了時間の設定表示)：“時間後 OFF”
4. 時間設定(ボタン⑨)を押して、入タイマー(運転開始時間)または切タイマー(運転終了時間)を設定し、フィルター(↵ ボタン④)を押して時間を確定させます。
   - ・入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は“－－”表示の状態としてください。
   - ・設定範囲時間：1～72時間
   - 設定した時間を取消すときは、点検(クリア)(ボタン⑪)を押し、時間を“－－”表示とさせた後、フィルター(↵ ボタン④)を押し確定させてください。

お知らせ

●確定せずに運転切換(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. 入切タイマーを両方使用するときは、2.3.で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
   - ・入切タイマーを同時間に設定することはできません。
     入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は“－－”表示の状態としてください。
6. 運転切換(ボタン②)で、タイマー設定が完了します。
7. タイマー入切(ボタン⑩)を押すとタイマー運転が開始され、設定された時間が表示されます。

簡易タイマー設定を確認するとき



1. 液晶に簡易タイマーが表示されていることを確認します。
2. タイマーメニュー(ボタン⑧)を押し、“タイマーモニター”表示とします。ボタンを押す毎に、“タイマーモニター”と“タイマーセッテイ”の表示が切換わります。
   - ・設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
     入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示されます。
3. 運転切換(ボタン②) を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。
   - ・ボタンを押さない場合も、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

簡易タイマー運転を解除(停止)するとき

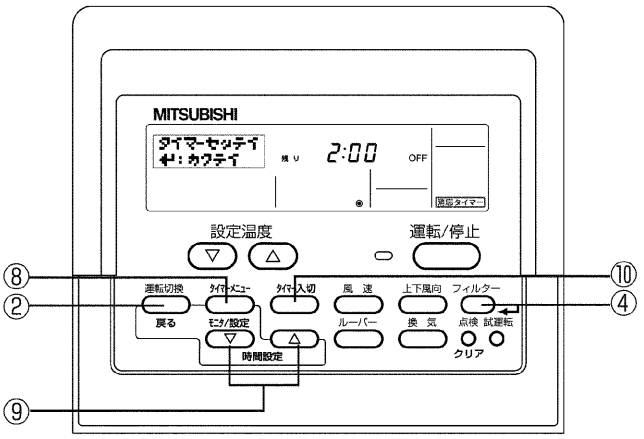
■タイマー入切(ボタン⑩) を押し、タイマー設定した時間表示を消した状態とします。

(4) 消忘れ防止タイマー運転のしかた

■消忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過したときに自動的に空調機を停止させます。

■消忘れ防止タイマー設定時は、簡易タイマーの設定はできません。

■消忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。(設定時間は30分単位です。)
リモコンのタイマー機能設定は、簡易タイマーが標準設定(初期設定)となっています。消し忘れ防止タイマーをご使用になる場合は、P12,13の『(7) リモコンの機能選択のしかた』でタイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーに変更を行ってください。



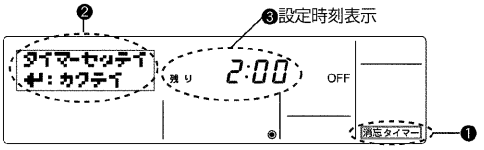
MAスムースリモコン

お知らせ

●下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」
「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中(運転/停止操作禁止)」

※簡易タイマー設定中も同様です。

消忘れ防止タイマーの設定のしかた



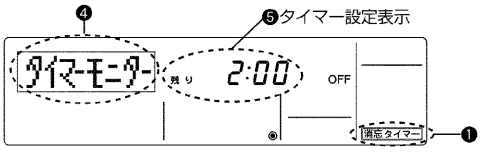
1. 液晶に 消忘タイマー が表示 ❶ されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、"設定画面" 表示 ❷ とします。ボタンを押す毎に、"モニター画面" と "設定画面" の表示が切換わります。
3. (時間設定)(ボタン⑨)を押して、切タイマー(運転終了時間) ❸ を設定します。
4. (フィルター)(↵ ボタン④)を押して時間を確定させます。

お知らせ

●確定せずに(運転切換)(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. (運転切換)(ボタン②)で通常画面に戻し、タイマー設定が完了します。
6. 空調機が運転状態になると、消忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。
必ずご確認ください。

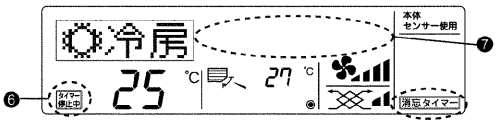
消忘れ防止タイマー設定を確認するとき



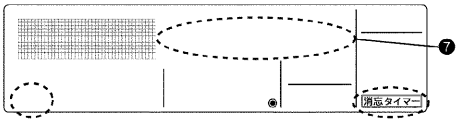
1. 液晶に 消忘タイマー が表示 ❶ されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、"モニター画面" 表示 ❹ とします。
・設定されている切タイマー時間が表示 ❺ されます。
3. (運転切換)(ボタン②) を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。

消忘れ防止タイマーを解除(停止)するとき

● (タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、タイマー停止中 を表示 ❻ タイマー実行時間 表示 ❼ を消灯させます。



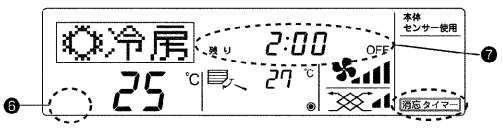
● 空調機を停止させ、タイマー実行時間 表示 ❼ を消灯させます。



消忘れ防止タイマーを運転するとき

● タイマー停止中に(タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、タイマー停止中 を消灯❻ 、タイマー実行時間を点灯表示 ❼させます。

● 空調機を運転させ、タイマー実行時間を点灯させます。

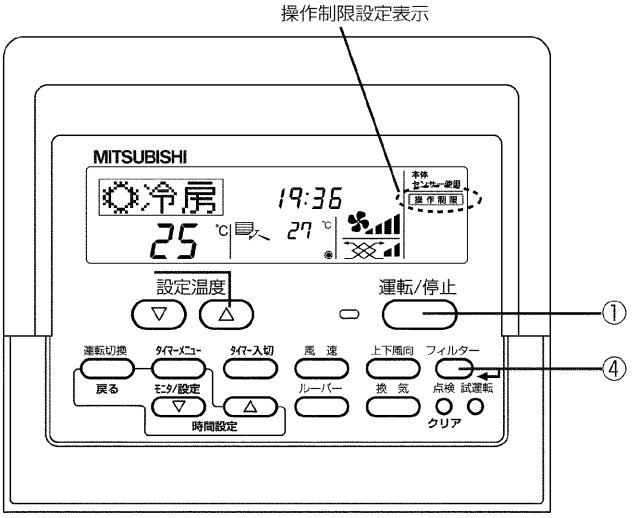


(5) 操作ロックのしかた

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。(操作ロックの機能には次の2つがあります。)
リモコン機能選択で設定します。
リモコン機能選択での設定方法については、P12,13の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。
①全ボタンロック
リモコンの全てのボタン操作をロックします。
②(運転/停止)ボタン以外ロック
(運転/停止)ボタン以外の操作をロックします。

お知らせ

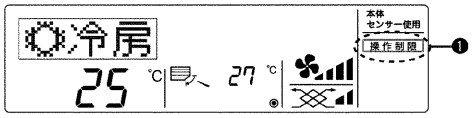
●操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。



操作ロック設定のしかた

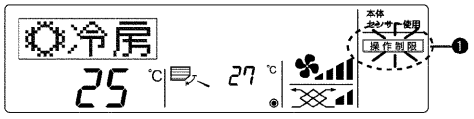
1. リモコンの機能選択のしかた（P12,13参照）で、操作制限機能設定（操作ロック）をno1またはno2に設定します。
no1：運転／停止ボタン以外の操作をロックします。
no2：リモコン全てのボタン操作をロックします。

2. (フィルター)(↵ ボタン④)を押しながら、(運転/停止)(ボタン①)を2秒押して[操作制限]❶を点灯させます。



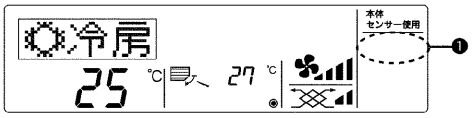
※リモコン機能選択で、“操作ロック設定なし”が選択されている場合は“無効ボタン”が点灯表示します。

※操作ロック中に、ボタン操作をしますと、[操作制限]❶が点滅表示します。



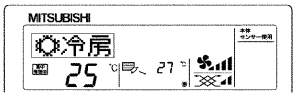
操作ロック設定解除のしかた

1. (フィルター)(↵ ボタン④)を押しながら、(運転/停止)(ボタン①)を2秒押して[操作制限]❶を消灯させます。

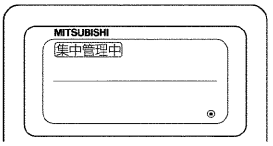


(6) その他の表示・点滅について

集中管理中表示



MAスムースリモコン



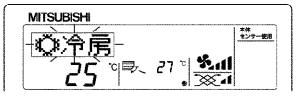
コンパクトリモコン

●集中コントローラー等で、操作を制限又は、遠方表示アダプター（PAC-SA88HA）を使用し、カードキーSW等で操作無効になっているときに表示します。
制限される操作は以下のとおりです。
・運転／停止
・運転モード
・設定温度

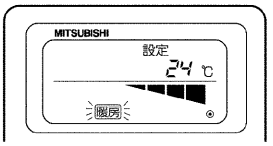
お知らせ

●個々に制限される場合もあります。
●氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

運転モードの点滅



MAスムースリモコン

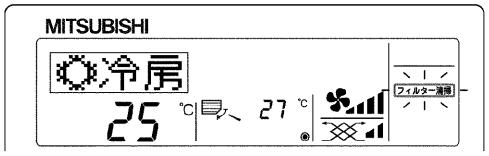


コンパクトリモコン

●点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。（MAスムースリモコンのみ）

●点滅した後モードが切換わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。
他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅 MAスムースリモコンのみ



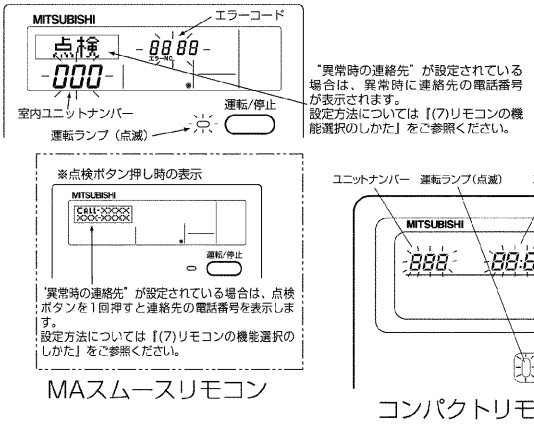
●フィルター清掃時期をお知らせします。
フィルター清掃を実施してください。

● “フィルター清掃” 表示をリセットする場合
フィルター清掃後、（フィルター）ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

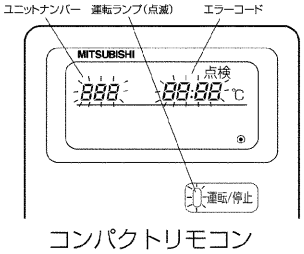
お知らせ

● “フィルター清掃” 表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
● “フィルター清掃” が表示されていない時でも、フィルターを清掃した場合は、フィルターボタンを2度押ししてください。積算時間がリセットされ、その時点から運転時間が積算されます。

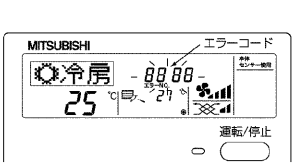
エラーコードの点滅



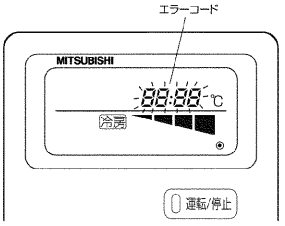
MAスムースリモコン



コンパクトリモコン



MAスムースリモコン



コンパクトリモコン

●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードをメモして空調機の電源を切り、サービスをお申しつけください。

●「エラーコード」のみが点滅している場合
（運転ランプは点灯したまま）
空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

(7) リモコンの機能選択のしかた

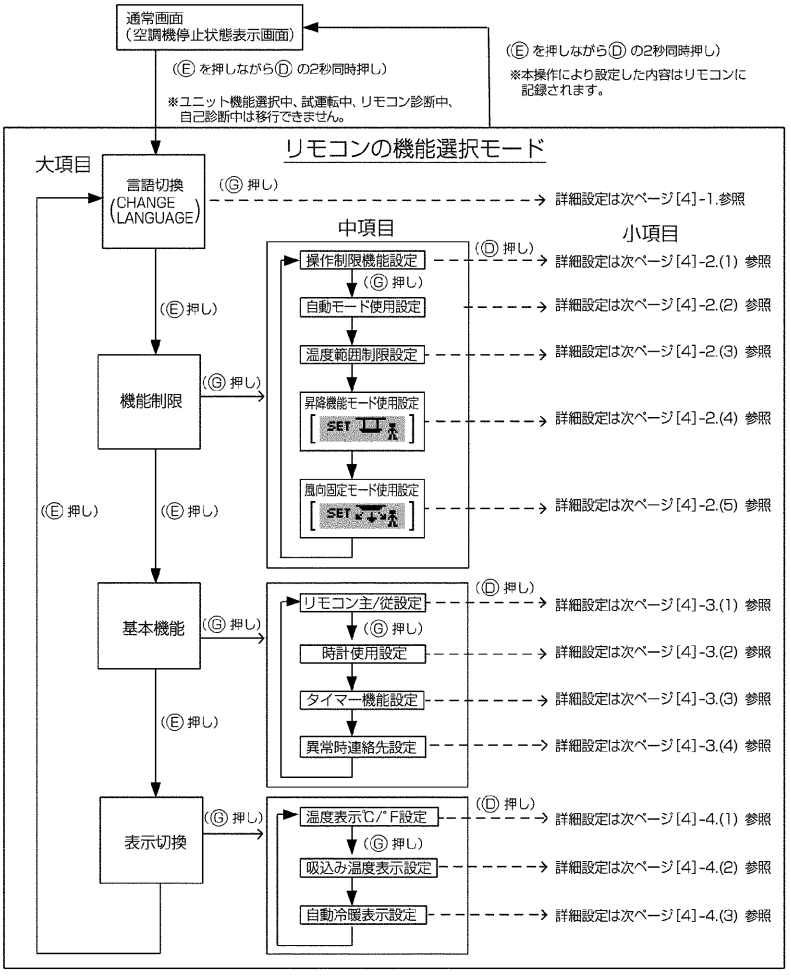
リモコン機能選択モードでは下記の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目（設定内容）
1．言語切換（CHANGE LANGUAGE）	表示する言語の設定を行います。	・多言語表示ができます。
2．機能制限	(1)操作制限機能設定（操作ロック）	・操作制限（操作ロック）の範囲を設定します。
	(2)自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定にします。
	(3)温度範囲制限設定	・温度調節範囲（上限・下限値）を設定します。
	(4)昇降機能モード使用設定　※	・昇降機能モードの使用有無を設定します。
	(5)風向固定モード使用設定　※	・風向固定モードの使用有無を設定します。
3．基本機能	(1)リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切換えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2)時計使用設定	・時計機能の使用有無を設定します。 ※PAR-24MAでは本設定はできません。
	(3)タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(4)異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4．表示切換	(1)温度表示℃/°F設定	・表示する温度単位（℃/°F）を設定します。
	(2)吸込み温度表示設定	・室内(吸込み)温度表示の有無を設定にします。
	(3)自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

※本ユニットにこの機能はありません。

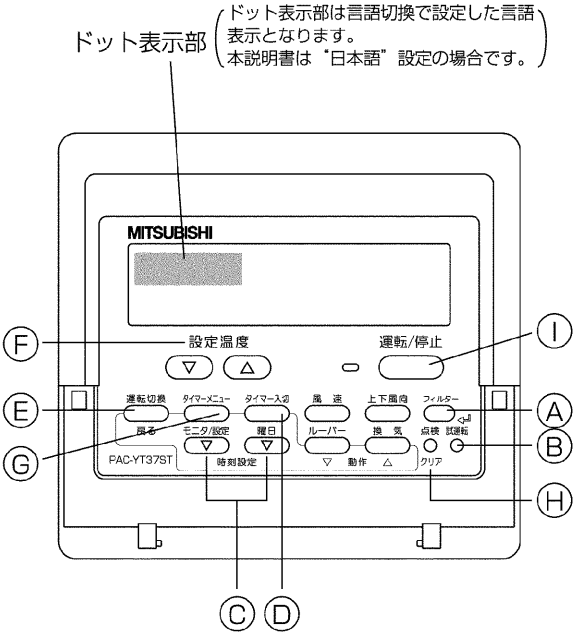
機能選択の流れ】

[1]空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する　⇒　[2]大項目を選択する　⇒　[3]中項目を選択する　⇒　[4]小項目（内容を設定する）　⇒　[5]設定完了　⇒　[6]通常画面に移行する（終了）



お知らせ

●リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。



設定詳細]

[4]-1.言語切換設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切換えます。

①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2.機能制限設定

(1)操作制限機能設定(操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①no1	:運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2	:全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF(初期設定値)	:操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作(フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2)自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON(初期設定値)	:運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF	:運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3)温度範囲制限設定

設定内容変更時は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①冷房モード	:冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード	:暖房モードでの設定温度範囲を変更します。
③自動モード	:自動モードでの設定温度範囲を変更します。
④OFF(初期設定値)	:温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。
ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。

・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定の選択を切換えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。

・設定範囲

冷房・ドライモード	:下限値:19℃～30℃	上限値:30℃～19℃
暖房モード	:下限値:17℃～28℃	上限値:28℃～17℃
自動モード	:上限値:19℃～28℃	下限値:28℃～19℃

※設定範囲は接続されるユニット(スリム機種、フリープラン機種、中温機種等)により異なります。

(4)昇降機能モード使用設定(本ユニットにこの機能はありません)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON	:昇降機能モードへの移行操作が有効となります。
②OFF	:昇降機能モードへの移行操作が常時無効となります。

※移行操作 :停止表示中でのフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。

・昇降機能モードでは室内ユニットグリル(パネル)の昇降を行うことができます。

(5)風向固定モード使用設定(本ユニットにこの機能はありません)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON	:風向固定モードへの移行操作が有効となります。
②OFF	:風向固定モードへの移行操作が常時無効となります。

※移行操作 :停止表示中でのフィルターボタンと風速ボタンの同時2秒押し。

・風向固定モードでは吹出口毎にベーンの位置を固定することができます。

[4]-3.基本機能設定

(1)リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①主　:主設定となります。

②従　:従設定となります。

(2)時計使用設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON　:時計機能が使用可能となります。

②OFF　:時計機能が使用不可となります。
曜日・時刻の設定・表示は不可となります。

(3)タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。(いずれか一つを選択)

①タイマー週間(初期設定値MAデラックス時)　:週間タイマー使用可能となります。

②タイマーケシワスレ　ボウシ　:消し忘れタイマー使用可能となります。

③タイマーカンイ(初期設定値MAスムース時)　:簡易タイマー使用可能となります。

④タイマー無効　:タイマー未使用設定となります。

※時計使用設定がOFF設定時は、"タイマー週間"は選択できません。

(4)異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①CALL・OFF　:異常中に設定した電話番号は表示されません。

②CALL・0120 *** ****　:異常中に設定した電話番号を表示します。

CALL・__　:左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

②設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。点滅しているカーソル(__)を移動して、数字を設定します。
設定温度△(▽)ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

[4]-4.表示切換設定

(1)温度表示℃／℉設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①℃　:温度表示単位をセ氏表示にします。

②℉　:温度表示単位を華氏表示にします。

(2)吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON　:吸込温度を表示します。

②OFF　:吸込温度は表示されません。

(3)自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON　:自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。

②OFF　:自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

●フリープランシステムではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転（ドライ運転）を行います。

●室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

●室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切換えが行われ、リモコンでは設定できません。

●運転モード

室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間（分）	圧縮機停止時間（分）
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26～27℃	7	3
		24～25℃	5	3
		23℃以下	3	3
	OFF	無条件	3	10
18℃以下	圧縮機運転禁止			

温調信号ON …室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF…室温が設定温度より低い場合

1. お好みの室温になるまで
   室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると
   圧縮機・室内ファンとも停止します。
   10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

暖房運転について

●暖房開始時に風が出ない：室内ファンは吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
（ホットスタートといいます。このときリモコンに“暖房準備中”が表示されます。）

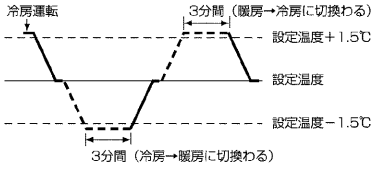
●風速が設定どおりでない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。

●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

自動運転とは

●設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

●自動運転中に室温が変化し設定温度より1.5℃以上高くなり、その状態が3分続くと冷房運転に切換わります。
また、1.5℃以上低くなり、その状態が3分続くと暖房運転に切換わります。



換気連動運転とは

●エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

送風運転

●送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

霜取中とは

●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。

●霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

使用温度範囲

●使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となります。

		室内	天井内	室外
冷房・ドライ	乾球温度	ー	～30℃	-5℃～43℃
	湿球温度	15℃～24℃	～RH80%	ー
暖房	乾球温度	15℃～28℃	ー	ー
	湿球温度	ー	ー	-20℃～15.5℃
自動	乾球温度	冷房・ドライ/暖房と同じ		-5℃～20℃
	湿球温度			-5℃～15.5℃
送風・換気	乾球温度	ー	ー	ー

※室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30～80%です。
※室外ユニットの使用温度範囲は室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等でご確認ください。
※自動運転の運転可能範囲外のサーモON時、送風運転になる場合があります。

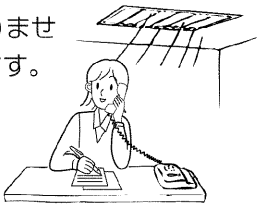
上手な使い方

上手な使い方ー“フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。

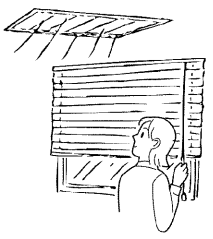
●冷やし過ぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。

●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となります。

●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また露付・露たれの原因にもなります。

●ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（11ページ参照）

※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

中間期にはドライ運転を

●ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。

●ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じるときがあります。ドライ運転をご利用ください。

ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。

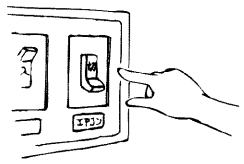
●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。

●冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

4. お手入れのしかた

お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。



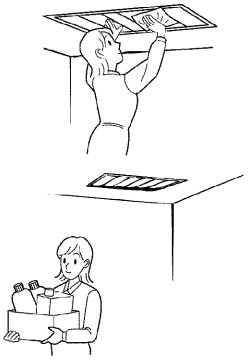
室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。

■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布等に少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



フィルターの清掃

⚠注意

必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠注意

フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意

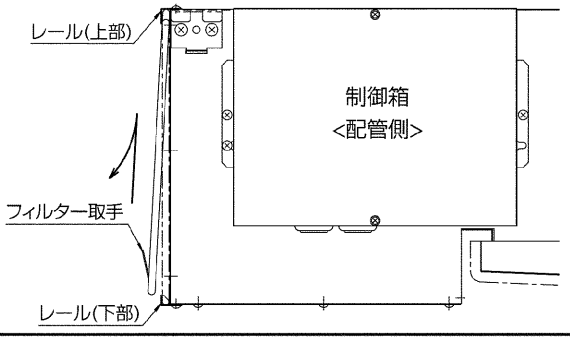
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

⚠注意

フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

(1)フィルターを取外す。

<フィルターの脱着方法>
①フィルターを制御箱側<右図手前側>にスライドさせ脱着してください。
②または取手を持ち上げフィルター下部をレールから抜いてください。
③取付けはフィルター上部をレールにはめ込みフィルター下部をレール内に収めてください。
※本体吸込口に隙間がないようフィルターを取付けてください。



(2)フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。

■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

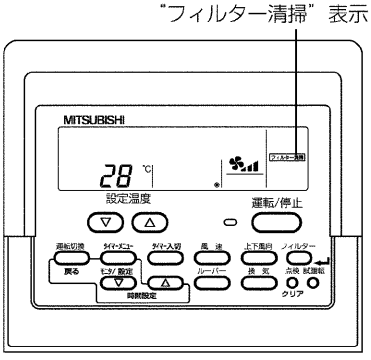
(3)水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないでください。

(4)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）

フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。



“フィルター清掃”表示をリセットする

(1)フィルター清掃後(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（約100時間運転毎）。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。

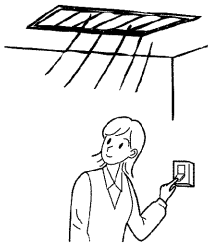
■“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

■“フィルター清掃”が表示されていない時でも、フィルターを清掃した場合は、フィルターボタンを2度押ししてください。積算時間がリセットされ、その時点から運転時間が積算されます。

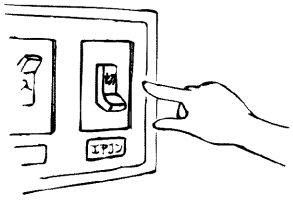
5. 長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2)室内ユニットの電源を切る。

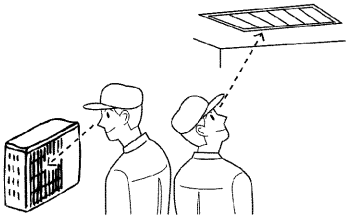


再度使い始めるとき

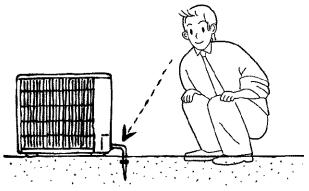
■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。
※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



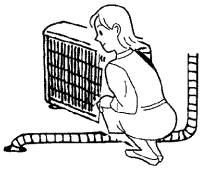
(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

6.「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	■フィルターの清掃をしてください。 （フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです） ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。 室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？ ■窓やドアが開いていませんか？
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。 ■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。 ■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源開閉器を入れてください。表示部に“⊙”が表示されます。
運転ボタンを押したのに運転しない。 点灯したリモコンの運転表示が消える。	■室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか？ 電源開閉器を入れてください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	■約3分間お待ちください。 （エアコンを保護するため、止まっています）
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ■停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ■“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	■タイマー設定が無効となっていませんか？ タイマー設定がセット可能なときは、簡易タイマー 、週室タイマー のどちらかが表示されています。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	■初期設定（約3分）を行っているためです。
リモコンにエラーコードが表示される。	■保護機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
騒音が仕様値よりも高い。	■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。また、下吸込み仕様の場合、後ろ吸込みに比べて6～9dB程高くなります。 吸音効果の高い部屋 / 普通の部屋 / 吸音効果の低い部屋 一般例：放送スタジオ、音楽室等 / 応接室、ホテルロビー等 / オフィス、ビジネスホテル 騒音アップ値：3～7dB / 6～10dB / 9～13dB
暖房サーモOFF時および送風運転時に断続的に温風が出る。	■他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。 しばらくすると止まります。

7. 移設・工事について

移設・廃棄について

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。
この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。
■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には据付けない。万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。
■可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
■炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
■車輌・船舶など移動するものへの設置
次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）
■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。
■湿気や蒸気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。
■粉が多量に発生するところ
フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
ダクト空調を選定してください。
■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。
海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）
■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。
■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）
室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠注意

●アース工事を行う。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

⚠注意

●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断器を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

8. 保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買い上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買い上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」(別添)へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書

■室外ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな？」と思ったら”（19・20ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室外ユニットは、保証書に記入してあります。 室内ユニットは、室内製品名板に記入してあります。
3.お買い上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒーター付き機種は、ヒーターにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスター、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年
補助電気ヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年
高性能フィルター		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント（自然蒸発式）		3年
クランクケースヒーター		8年
オイルフィルターエレメント	随時	油が垂れる前に交換

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

9. 仕　　様

●PEFY-P・ML-E形

項目＼形名		22	28	36
電　源		単相 200V　50／60Hz		
冷房能力	(kW)	2.2	2.8	3.6
暖房能力	(kW)	2.5	3.2	4.0
外形寸法	高　さ (mm)	後ろ吸込時 292,下吸込時 300		
	幅 (mm)	640		
	奥　行 (mm)	後ろ吸込時 580,下吸込時 570		
風量 強-中-弱 (m^3/min)		7.9 - 5.8 - 4.8		9.3 - 5.8 - 4.8
騒音値 強 - 中 - 弱 (dB)		30 - 25 - 22		33 - 25 - 22
製品質量	(kg)	19		

注1. 騒音値はA特性で、後ろ吸込み時の値です。
　　下吸込みの場合は、これより6～9dB程騒音値は高くなります。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。	
お買い上げ店名	電話
お買い上げ(据付)日	年　月　日

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04378X02